

研究主題

「自ら学び、つながり、未来を切り開くことができる生徒を育てる」
～3つの資質・能力を伸ばす授業づくり～

1 単元名 場面に応じて話そう ～自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する～

2 教材名 「場面に応じて話そう 条件スピーチ」(東京書籍『新しい国語3』)

単元で付けたい力

- ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使う力。〔知識及び技能〕(1)エ
- ・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する力。〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)ウ
- ・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度。〔学びに向かう力、人間性等〕

3 単元について

○教材観

話すことは、書くこと以上に具体的な場面を想定することが不可欠である。これまでの学習でも「目的や場面に応じて話す力」の指導はしてきているが、何をどのように話すべきかという話の内容や、そこで用いられる表現は、話す相手や目的、話す場の状況によって異なるため、さらにきめ細やかな指導が必要とされる。

本教材では、「小学生に体験学習をPRする」、「体験時にお世話になった方々に報告や提案をする」、「体験を通して考えたことを面接で述べる」という三つの場面でのスピーチを想定しているが、本校では「体育祭について場面を決めて述べる」ととし、自分の体験をもとに題材を集め、相手や目的に応じて、伝えるべき内容を精査したり、よりふさわしい言葉や話し方を考えたりさせたい。このことで、相手や目的によって求められる内容や表現の違いに気づき、場に応じた話し方ができる力を身につけさせたい。

○生徒観

令和6年度全国学力・学習状況調査の自校採点において、本学年の生徒に見られた課題は、大問1二、第2学年「話すこと・聞くこと」A(1)ウ、大問2一、第2学年「読むこと」C(1)ウであった。大問1二は、資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができるかを見る問題が取り扱われている。普段の授業では、場面の設定を行うことで、目的意識をもって意欲的に取り組み、ある一定のレベルでのスピーチも行える学年と言える。しかし、出題の意図である、資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することに課題が見られる。これは、本設問のように、複数の生徒のやり取りの内容と資料を一致させて考えるといった経験が少なかったためと考えられる。

大問2ーでは、文章と図を結び付けて内容を解釈するという点に課題が見られた。さまざまな葉が書かれた図が、本文において重要な役割をすることは理解できている。しかし、実際の葉を思い浮かべたり、実際の葉の形とそれを表す言葉とを結び付けたりする際の役割をもつことが理解できていないなど、主張と例示の関係を捉えることにつまずきがあったと予想される。つまり両問題から、文章の解釈とそれに関わる情報と情報との関係について理解することに弱さがあると言える。

本学級の生徒は、積極的に授業に取り組める生徒が多く、グループで話し合ったり、意見交換をしたりするなどの活動に前向きである。しかし、多角的に物事を捉える力が弱いため、グループ等で意見交流したことをいかして推敲し、よりよいスピーチをさせたいと考えた。

○指導観

令和6年度全国学力・学習状況調査で見られた課題から、資料を用いて自分の考えを伝えること、文章と図を結び付けて解釈する力、必要な情報に着目して読みとる力が必要であると考えられる。そこで、情報と情報との関係に着目し、分かりやすく伝わるように表現を工夫するなどの力を育成するために、本単元の学習課題を「提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする」と設定した。本単元では、直前に行われた体育祭について、異なる場面を想定してスピーチするためのメモを考えさせた後、実際にスピーチを行う。その後、グループで評価し合うことで、場面や状況に応じて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することや、相手が納得できるような論理の展開の仕方、話の構成などを考えさせたい。また、選んだ場面によってスピーチに必要とされるポイントが違うことを押さえさせ、そのために自ら集めた情報を的確に整理、選択させ修正を加えることで、適切な話の構成にも気づかせたい。そして、実際に行われている本校の体育祭の魅力を題材にスピーチをする活動を通して、様々な世代の人たちに、自分の考えが効果的に伝わるような表現の工夫を身につけさせたい。

4 単元の目標

- (1)敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。 [知識及び技能] (1)エ
- (2)場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 [思考力・判断力・表現力等] A(1)ウ
- (3)言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 (1)エ	①「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 (A(1)ウ)	①場面に応じた話の内容や構成を考えることに粘り強く取り組み、学習の見通しをもって、自分の考えを分かりやすく伝えようとスピーチしようとしている。

6 指導と評価の計画

時 数	○指導のねらい(目標) ・学習内容、学習活動	評価	
		評価規準	評価方法
1	○スピーチに大切なことは何かを考える。 ・単元の流れの確認。 ・単元のゴールとゴールイメージの共有。 (付けたい力を確認し、スピーチの評価の観点を確認する) ・本時の目標と流れの確認。 ・スピーチについて既習事項の確認。 ・スピーチモデルの提示。 ・本時の振り返り。	【知識・技能】① ここでは、相手や場に応じた言葉遣いを適切に使っているか確認する。 話題の設定 情報の収集 内容の検討	ワークシート 振り返り
2 3 (本時)	○話す内容や構成を考え、スピーチメモを完成させる。 ・単元の流れの確認。 ・本時の目標と流れの確認。 ・各自が決めた場面ごとに工夫するポイントを見つけさせる。 ・体育祭を振り返って、話す材料を集める。 「体育祭をテーマに、自分が選択した場面に適した表現方法を考えさせる」 ・話す内容や構成を考え、スピーチメモを作成する。 ・メモをもとにスピーチ練習を行う。 (タブレット撮影) ・「自己評価」の提出。 (評価観点の案:言葉遣い、印象に残る構成など) ・本時の振り返り。	【主体的に学習に取り組む態度】① ここでは、場面に応じた話の内容や構成を考えることに粘り強く取り組んでいるか確認する。 【思考・判断・表現】① ここでは、場の状況に応じた言葉や自分の考えが分かりやすく伝わるような工夫ができているか確認する。 表現・共有	観察 振り返り ロイロノート (シンキングツール) スピーチメモ ロイロノート 振り返り
4	○スピーチをする。 ・単元の流れの確認。 ・本時の目標と流れの確認。 ・スピーチをする。 ・スピーチを評価し合う。 (スプレッドシートにコメントを入れる) ・新たな気づきや、これからの生活に活かしていきたいことをまとめる。 ・単元の振り返り。		観察 ロイロノート 振り返り

7 本単元における、つけさせたい資質・能力とその手立て

選んだ3つの資質・能力「 考えを表現する力 」
具体的活動 ・本校の体育祭について、自分で決めた場面でスピーチを行う。

8 本時の指導計画（3/4時間）

(1) 本時の目標

・場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。

〔思考力・判断力・表現力等〕A(1)ウ

(2) 本時の評価規準

・場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。

〔思考力・判断力・表現力等〕A(1)ウ

(3) 準備物 タブレット端末、評価シート

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意点 ☆C の生徒への手立て	評価規準・評価方法
導入	・前時の振り返りと単元の流れの確認をする。 ・本時の目標と流れの確認をする。	・前時までに確認した、場面ごとに必要な工夫のポイントを振り返らせる。 ・本時の課題を確認するとともに学習の見通しを持たせる。	
	めあて 話す内容や構成を考え、スピーチメモを完成させる。	☆クラウド上にヒントボックスを用意する。	

展 開	・話す内容や構成を考え、スピーチメモを作成する。 ・スピーチ練習をする。 ・スピーチを自己評価する。 ・自分のグループ以外のスピーチを全体共有する。	・体育祭について書いた材料を、自分が選んだ場面に適した表現方法に変えさせる。 ☆工夫のポイントごとに、選んだ材料から箇条書きをさせていく。 ・工夫の欄に、自分のメモに活かしたポイントを書かせる。 ・評価の観点をもとに自己評価をさせる。 ・スピーチの様子をタブレットで撮影し、提出する。 ・時間があれば、数名のスピーチを例に挙げて見させる。	【思考・判断・表現等①】 スピーチメモ、評価シート、ロイロノート ・ここでは、場の状況に応じた言葉を選んでいるか、伝わりやすい表現の工夫ができているか確認する。また友だちの助言を自分のスピーチに活かしているか確認する。
終 末	・話の構成や表現の工夫で、特に大事だと感じたことを挙げる。 ・振り返り	・聞き手の関心、伝える目的を考える ・興味を持たせるための工夫 ・伝えることに優先順位をつける ・聞き手の反応から、説明の仕方を変えるなど、話す内容を調整する力など ○スピーチ練習で得た、新たな発見とは何か。	【振り返りの例】 ・自分には準備が特に必要だと感じた。そのためには、スピーチメモが大切で、メモを書く段階から目的意識をもって作ることが大事だと感じた。 ・準備もなく2分話すのは長く感じるが、2分で相手に自分の考えを伝えるためには、構成や工夫が特に大事だと気づいた。その上、正しい敬語も意識しないといけないので、練習が必要だと思った。 ・昨年プレゼンテーションについて学習していたので、ある程度のことは分かっていたつもりだったが、同じことを伝えるとしても、目的や相手が違うと表現の仕方も全然違ってきて、勉強になった。